

防災シンポジウム

南海トラフ巨大地震に備えて

センターでは、南海トラフ巨大地震対策に関わる啓発活動として毎年12月に防災シンポジウムを開催。東三河地域を中心とする関係機関・団体の後援を得、企業・自治体学外の研究者・実務者を招き、地元企業や自治体の代表者らとともに毎回活発な議論を行っている。



2019年度は、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホールを会場として実施。

昨今、大型台風による被害が頻発している状況を踏まえ、今年は、南海トラフ地震と台風による「複合災害」をテーマに、早稲田大学名誉教授の濱田政則（はまだ・まさのり）先生、名古屋大学准教授の都築充雄（つづき・みつお）先生、本学教授の加藤茂（かとう・しげる）先生を迎え、講演とパネルディスカッションを行った。

開催概要

巨大地震と台風の複合災害に備える

タイトル

～伊勢湾台風から 60 年～

日時 2019年12月10日(火) 13:00～17:00

会場 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール (愛知県豊橋市西小田原町123番地)

参加費 無料、事前申込制

主催 豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター

プログラム

(12:30 開場)

13:00-13:10 開会挨拶

大西 隆 (豊橋技術科学大学長)

13:10-14:10 講演① 臨海部産業施設の地震・津波リスクと強靱化

—自然災害の激甚化への対応—

濱田政則 (早稲田大学・名誉教授)

14:10-14:20 - 休憩 -

14:20-15:20 講演② 近年の風水害の特徴と対策への課題

加藤 茂 (豊橋技術科学大学・教授)

15:20-16:20 講演③ 地震・台風・電気はどうなる？

都築充雄 (名古屋大学・准教授)

16:20-16:30 - 休憩 -

16:30-17:00 パネルディスカッション

濱田政則 | 加藤茂 | 都築充雄

moderator 齊藤大樹 (豊橋技術科学大学 CARM センター長)

17:00 閉会挨拶

中澤祥二 (豊橋技術科学大学・教授)



大西隆



濱田政則



加藤茂



都築充雄



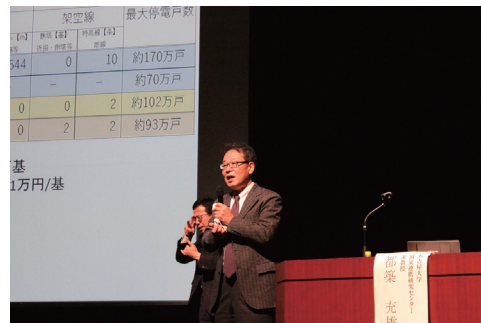
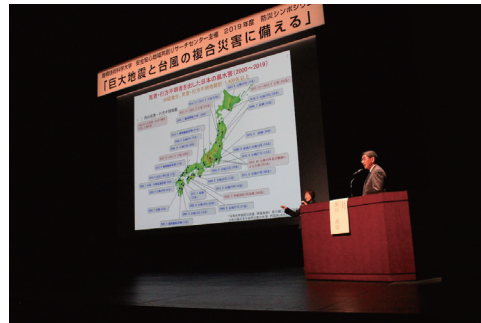
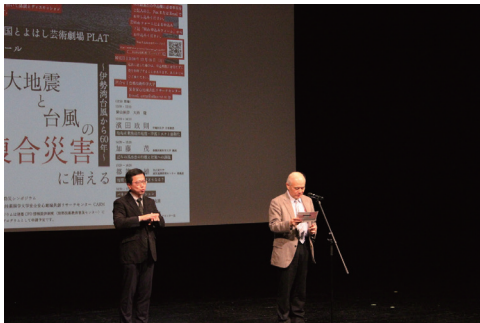
参加者数 | 合計 211 名（学内 111 名、学外 82 名）

| | 申込者数 | 参加者数 |
|-----------|-------|------------------|
| 学内 | 115 名 | 111 名（うち学生 95 名） |
| 学外 | 90 名 | 82 名 |
| メール | 5 名 | 5 名 |
| FAX | 57 名 | 52 名 |
| WEB | 23 名 | 17 名 |
| 電話 | 1 名 | 0 名 |
| 東三河防災カレッジ | 11 名 | 10 名 |
| 当日 | | 11 名 |
| 登壇者 | 2 名 | 2 名 |
| スタッフ | 14 名 | 14 名 |
| 合計 | 228 名 | 211 名 |

参加申込媒体

| | 人数 |
|----------------------------|------|
| Web サイト：豊橋技術科学大学のホームページをみて | 12 名 |
| Web サイト：CARM のホームページをみて | 5 名 |
| Web サイト：つながる防災のホームページをみて | 2 名 |
| 市役所においてあるチラシをみて | 7 名 |
| 会場（PLAT）においてあるチラシをみて | 1 名 |
| 校区市民館においてあるチラシをみて | 1 名 |
| 新聞をみて | 1 名 |
| 職場に届いた案内をみて | 36 名 |
| メールによる案内をみて | 18 名 |
| 東三河防災カレッジでの案内をみて | 19 名 |
| その他（東三河懇話会での案内等） | 9 名 |

シンポジウムの風景



近年、地球温暖化に伴い、台風の発生が頻発しています。一方、南海トラフ地震の発生も確実視されていることから台風の前後に地震が発生するような複合的な災害に備える必要があります。

昨年9月に発生した北海道胆振東部地震では、前日の台風によって土壌に大量の水が含まれたことで、地震の際に大規模な土砂崩れが起きたと考えられています。また、今年は伊勢湾台風から60年という節目の年でもあります。

そこで本シンポジウムでは、広く市民の防災意識向上に寄与することを目的に、地震と台風による複合災害が、インフラに与える影響に着目し、それぞれの分野の専門家を招いて講演とディスカッションを行います。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

主ホール

巨大地震 と 台風 の 複合災害 に備える

伊勢湾台風から60年

2019年度 防災シンポジウム

主催：豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター CARM

※本シンポジウムは建築 CPD 情報提供制度（建築技術教育普及センター）における認定プログラムとして申請予定です。

12.10 Tue

13:00～17:00

日時 | 2019年12月10日(火) 13:00～17:00

場所 | 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

主ホール 豊橋市西小田原町 123 番地

定員 | 400名

参加費 | 無料 (事前申込制)

申込み | ①申込書による申込み

本用紙裏面の申込欄に必要事項をご記入の上、Fax または Email でお申し込みください。

②Web フォームによる申込み

下記「Web 申込みフォーム」からお申し込みください。

Web 申込みは専用ページから

https://www.tut.ac.jp/survey/form/carm_sympo2019/

安全安心地域共創リサーチセンター



締切日 | 2019年12月09日(月)

定員に達した場合は、申込期限日を待たずに受付を終了することがあります。あらかじめご了承ください。

問合せ | 豊橋技術科学大学

安全安心地域共創リサーチセンター

E-mail. carm@office.tut.ac.jp

(12:30 開場)

13:00 - 13:10

開会挨拶 大西 隆

13:10 - 14:10

濱田 政則 早稲田大学 名誉教授

臨海産業施設の地震・津波リスクと強靱化

14:20 - 15:20

加藤 茂 豊橋技術科学大学 教授

近年の風水害の特徴と対策への課題

15:20 - 16:20

都築 充雄 名古屋大学 減災連携研究センター 准教授

地震・台風・電気はどうなる？

16:30 - 17:00

パネルディスカッション

濱田政則+加藤茂+都築充雄

moderator 齊藤大樹

豊橋技術科学大学 教授
安全安心地域共創リサーチセンター長

巨大地震と台風の複合災害に備える～伊勢湾台風から 60 年～

主催：豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター CARM

参加申込書

Fax. 0532-81-5195 または、E-mail. carm@office.tut.ac.jp

下記の太枠に必要事項をご記入の上、送信してください 申込期限：2019 年 12 月 9 日（月）

| | | | |
|---|--|----|-----|
| ふりがな 氏名 | | 性別 | 男・女 |
| 年齢 (○で囲む) | 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上 | | |
| 所属・役職 | | | |
| 連絡先 | E-mail: _____ @ _____ E-mail アドレスのない方はご自宅か勤務先の Fax 番号 (_____ - _____) | | |
| 本シンポジウムのことをどこで知りましたか？（当てはまるものにチェック） | | | |
| <input type="checkbox"/> ホームページを見て（ <input type="checkbox"/> 豊橋技術科学大学 <input type="checkbox"/> 安全安心地域共創リサーチセンター <input type="checkbox"/> つながる防災 ） <input type="checkbox"/> 置いてあるちらしを見て（ <input type="checkbox"/> 市役所 <input type="checkbox"/> 校区市民館 <input type="checkbox"/> PLAT ） <input type="checkbox"/> 新聞を見て <input type="checkbox"/> 職場に届いた案内を見て <input type="checkbox"/> メールによる案内を見て <input type="checkbox"/> 東三河防災カレッジでの案内をきいて <input type="checkbox"/> その他（ _____ ） | | | |
| 複数名で参加される場合は、下記にあなたと一緒に参加される方の氏名をご記入ください | | | |
| 氏名 | 氏名 | | |
| 氏名 | 氏名 | | |
| 氏名 | 氏名 | | |

（個人情報の目的外の使用は致しません）